



特別審査員賞を受賞したアペックスの郡司社長（前列中央）と社員＝8日午後、宇都宮市

離職率60%脱却取り組み映像に

自動車コーティングの「アペックス」（宇都宮市下川保町、郡司公生社長）が、11月に大阪市で開かれた「感動物語コンテスト2021グランプリ大会」で、特別審査員賞を受賞した。この大会での本県関係の受賞は初めて。同社は長年の課題だった「離職率60%からの脱却ストーリー」を題材にした。郡司社長が葛藤し、自身の考え方を変え、社員の働きがいを生み出す取り組みをまとめた内容が評価された。（山崎貴徳）

企業現場で実際に起きた感動物語のショートムービーを制作して競う大会で、主催は感動物語コンテスト普及協会（東京都）。今回は14回目。全国を4地区に分け予選会を実施した。同社は予選敗退した昨年に続き2度目の出場で、関東地区予選で2位となり、4地区予選で2位以下で争う敗者復活戦を勝ち上がり、6社による本大会へ出場した。

10分のショートムービーと5分のプレゼンテーションの題材にした同社の離職率は、入社2～3年目の社員が約20年間、60%程度で推移していた。当時、社員12人の半数が1年間に退職したことがあった。

郡司社長は仕事に厳しく、社員に事細かに指示を出す一方、当時は感謝の言葉をかけることはほとんどなかつたという。「お客様が最優先。そのための犠牲は仕方がないと考えていた」と振り返る。転機は2019年秋。参加したセミナーがきっかけで、自身が変わら必要を感じた。顧客も社員も大切にする経営にかじを切り、社

企業「感動物語」で特別審査員賞 社長と会社変革紹介